

若手プロジェクトリーダー7期生 プログラム概要

研修のねらい

【通年】

- ・ プロジェクトを客観的に捉え、プロジェクトの成果を評価し、今後に向けた改善点を提案できる

【本研修】

- ・ プロジェクト成功のカギとなる“協働”の事例について学び、助成終了後も、プロジェクトが自走化できるような仕組みを理解する
- ・ 協働という視点から客観的にプロジェクトをとらえる視点を養うとともに、7期生共通の課題解決についても学ぶ
- ・ 様々なステークホルダーとの協働の現場を知り、自団体のプロジェクトと比較検証する
- ・ 今までの若手 PL 研修で学んだ内容を総括し、プロジェクトの現場へ還元する
- ・ 7期生の関係性を深め、助成終了後も相互に研鑽できる関係性を構築する

研修内容	研修のねらい
<ul style="list-style-type: none">・ 2年目第3回研修で発表した研修生各自の目標を振り返る	<ul style="list-style-type: none">・ 3年目、研修生個人の重点事項に意識を向ける
<ul style="list-style-type: none">・ 協働、協力関係のポイントを学ぶ・ 関係者の”違い”に着目して協力を築くためにつくられた「協力構築サイクル」のワークを行う	<ul style="list-style-type: none">・ 同質性を前提としない、多様なステークホルダーの参加により、プロジェクトの成果を高める方法を身につける
<ul style="list-style-type: none">・ フィールド実習先である郡上里山株式会社興膳氏から話を伺う・ 協働の視点で整理する	<ul style="list-style-type: none">・ フィールド実習では、ステークホルダーを俯瞰的・客観的に捉え、利害を調整し、プロジェクトを改善する流れを体験する・ この準備として、重点事項を整理する

期待する効果

【本研修】

- ・ （組織の内外を問わず、意見の相違を問わず）他者と協力を築く力を高める
- ・ プロジェクトの推進役・調整役として、さらに力を発揮していく
- ・ これらによって、助成プロジェクトを成功に導く

7/6（水） 【1日目】		
10:00～10:45	合同オリエンテーション ・ 開会のあいさつ・事務連絡 ・ 研修の趣旨説明 ・ アドバイザー、講師、基金スタッフの紹介	地球環境基金
10:45～11:00	移動	
11:00～11:15	研修についての説明・チェックイン	地球環境基金
11:15～11:30	2年目第3回研修で発表した目標の振り返り	池本 桂子氏
11:30～12:30	講義「協力関係の作り方」	
12:30～12:45	午後のワークの説明「相利評価表について」	
12:45～14:00	昼食	
14:00～14:30	グループワーク「相利評価表・練習問題」	池本 桂子氏 松原 明氏
14:30～15:15	個人ワーク「相利評価表・助成プロジェクト」	
15:15～16:15	グループワーク 「相利評価表・助成プロジェクト」のブラッシュアップ	
16:15～16:30	チェックアウト、2日目の説明	地球環境基金

7/7 (木) 【2日目】		
10:00~10:15	・事務連絡 ・チェックイン	地球環境基金
10:15~12:15	1日目個人ワークの発表・フィードバック	池本 桂子氏 松原 明氏
12:15~13:30	昼食	
13:30~15:00	フィールド実習に向けて	興膳 健太氏
15:00~15:30	質疑応答・ディスカッション	池本 桂子氏 興膳 健太氏
15:30~16:00	フィールド実習の説明、事前課題の進め方相談	池本 桂子氏 地球環境基金
16:00~16:15	まとめ・事務連絡	地球環境基金

7期生研修 メンター紹介

池本 桂子 氏

新卒で公益社団法人日本ナショナル・トラスト協会に入職。会員対応やイベント運営を3年間経験後フリーランスに。

複数の環境NPOで、会計・総務・会員寄付者対応・人事・労務などバックオフィス業務に従事した。並行して、認定NPO法人シーズ・市民活動を支える制度をつくる会の会員としても活動。2010年にフルタイム職員となり、NPO法やその税制など、各種の政策提言活動に従事。2019年に代表理事を務めて2020年に退職。現在は再びNPO支援のフリーランスに。市民活動の力の源「参加と協力」の普及・推進に努めている。



7期生研修 第1回講師紹介

松原 明 氏 「協力世界」代表

1994年 NPO 法立法を推進するシーズ・市民活動を支える制度をつくる会を創設。事務局長、代表理事を務める。NPO 法、認定 NPO 法人制度、NPO 法人会計基準、NPO 法改正など NPO 支援制度の創設を推進し、NPO 支援財団研究会、NPO 法人会計基準協議会、日本ファンドレイジング協会、東日本大震災支援全国ネットワーク（JCN）などの創設も推進。

現在、「協力世界」を主宰し、NPO や地域づくり等で人々が協力を築くための技術を、誰でも学べるように「協力のテクノロジー」として体系化を進めている。著書に『NPO 法人ハンドブック』1998年、共著に『協力のテクノロジー』2022年、『NPO 法コンメンタール』1998年、『NPO はやわかり Q&A』など



興膳 健太 氏 郡上里山株式会社 代表取締役

福岡県出身。岐阜大学卒業後、2007年から郡上市に移住。「NPO 法人メタセコイアの森の仲間たち」代表理事として、自然体験を通じたまちづくり活動を行う。里山保全組織「猪鹿庁」を立ち上げ、猟師の6次産業化や獣害対策に取り組む。「狩猟サミット」「日本猪祭り」の発起人でもあり、現在は猟師として木を植え育てる造林業や酒造りに取り組む。



若手プロジェクトリーダー8期生 プログラム概要

研修のねらい

【通年】

- ・ 事業やプロジェクトの目的達成に向けた適切な戦略を策定できる
- ・ 事業・プロジェクト推進上の課題を特定し、適切なアクションを検討できる

【本研修】

- ・ 活動内で抱える課題を明確に把握し、課題解決をするための方法を理解し実践する。
課題解決に向けた実践の進捗状況を共有し、相互にエンパワーしながら活動内容を洗練する。

期待する効果

【本研修】

- ・ 活動の推進力が強化し、成果目標を達成する道筋が描けるようになる。
- ・ 活動で抱える課題の解決方法を理解し、団体内で共有され、活動の成果が出る。

7/6（水） [1日目]		
10:00~11:00	3期合同オリエンテーション ・ 開会のあいさつ・事務連絡 ・ 研修の趣旨説明 ・ アドバイザー、講師、基金スタッフの紹介	地球環境基金
11:00~12:00	午前の部 ・ 導入 研修の狙いや概要を説明 ・ 自己紹介	地球環境基金 堤 大介氏
12:00~13:00	昼食	
13:00~16:30	午後の部	堤 大介氏

	講義&ワーク「NPO 経営戦略」 組織経営全般（実態把握と戦略立案、ビジョン・ミッション、人員体制、組織の強み弱み、成果指標、マーケティング、ファンドレイジングなど含む）等	
16:30~16:45	まとめ・事務連絡	堤 大介氏 地球環境基金
16:45	終了	

7/7（木） [2日目]		
9:30~12:00	午前の部 ・チェックイン ・講義&ワーク「NPO 経営戦略」（一日目の続き） 組織経営全般（実態把握と戦略立案、ビジョン・ミッション、人員体制、組織の強み弱み、成果指標、マーケティング、ファンドレイジングなど含む）等	地球環境基金 堤 大介氏
12:00~13:00	昼食	
13:00~15:15	午後の部 ・ワーク・相互フィードバック ・講師との個別面談	堤 大介氏
15:15~15:45	課題と計画の共有、発表	
15:45~16:00	まとめ・事務連絡	堤 大介氏 地球環境基金
16:00	終了	

8 期生研修 メンター・講師紹介

堤 大介 氏 ファンドレイジング・コンサルタント/上級ウェブ解析士

1986 年北海道生まれ栃木県育ち 筑波大学第一学群社会学類卒。大学卒業後、2010 年に楽天株式会社に新卒入社。新規事業開発系部門にて広告企画、マーケティング、web ディレクション、事業開発などに従事し 6 年間勤務。2011 年よりプロボノとして複数の NPO の支援、立ち上げを経験。2016 年 5 月より株式会社 PubliCo にて、非営利組織の戦略コンサルタントとして 2 年間従事。2018 年 4 月より株式会社 STYZ に参画し、非営利組織向け寄付プラットフォーム Syncable のサービス開発、コンサルティング部門の立ち上げを行い、2019 年 5 月に公益組織支援のコンサルタントとして独立。支援テーマはビジョン・ミッション策定、事業計画立案、ファンドレイジング、Web マーケティング、ボランティアマネジメントなど。



若手プロジェクトリーダー9期生 プログラム概要

研修のねらい

【通年】

- ・ プロジェクトリーダーとしての役割を認識し、成果を生み出す上で必要なモノを把握する
- ・ 自団体のプロジェクトを把握し、成果目標までの道筋を理解する

【本研修】

- ・ 自分自身の強みとキャリア形成を考える
 - ・ プロジェクトの3年間の目標と計画を組み立て直す（ロジックモデルの活用）
- +
- ・ 9期生の同期間の関係性をあたためる！

期待する効果

- ・ 強みを理解することで、プロジェクトの中での自身の立ち位置や出来ることを把握する。また今後のキャリアをイメージすることで、担当している3年間のプロジェクトやその先のプロジェクトの発展、自走化に向けた道筋をイメージすることができるようになる。
 - ・ 自身が担当するプロジェクトのビジョンミッションを整理・把握し、プロジェクト内容をロジカルに考えることができるようになる。
- +
- ・ この研修が安心・安全な場であり、安全な場づくりに全員が協力することを共有するとともに、3年間の研修をともにする仲間として、互いを理解し研鑽しあえる関係性の基礎ができる。

7/6 (水) [1日目]		
10:00~10:45	合同オリエンテーション ・開会のあいさつ・事務連絡 ・研修の趣旨説明 ・アドバイザー、講師、基金スタッフの紹介	地球環境基金
11:00~12:00	午前の部 ・チェックイン・アイスブレイク	五井渕氏 草野氏/ezorock
12:00~13:00	昼食	
13:00~14:00	午後の部【グループワークと小講義】 ・ストレングスファインダーの共有と解説 (自分の強みを理解し、チームで共有する)	草野氏/ezorock
14:00~14:10	休憩	
14:10~15:20	・多様な人たちとのチームづくり (価値観の共有)	草野氏/ezorock
15:20~15:30	・休憩	
15:30~16:20	・ライフ・キャリアについてのフリートーク	五井渕氏 草野氏/ezorock
16:20~16:30	事務連絡	地球環境基金
16:30	終了	

7/7 (木) [2日目]		
9:30~9:35	事務連絡事務連絡	地球環境基金地球環境基金
9:35~9:45	アイスブレイク	五井渕氏
9:45~11:45	午前の部 ・【講義】「成果の道筋と仮説」 (ロジックモデル+リッチピクチャー+ハイドリーム/ロードリーム) ・【個人ワーク】プレゼン準備	五井渕氏
11:45~12:45	昼食	

12:45~15:15	午後の部 ・全体共有とフィードバック ・【個人ワーク】2日間の感想とネクストアクション ・全体共有	五井渕氏
15:15~15:30	事務連絡	地球環境基金
15:30	終了	

9期生研修 メンター紹介

五井渕 利明氏

2008年～2014年まで東京都内の区役所に勤務。2015年から独立し、現在は複数の団体・企業に所属するマルチジョブのスタイルで、経営者やプロデューサー、協働コーディネーター、コンサルタントなどの顔を持つ。数多くのコミュニティやプロジェクトを中核として運営してきた実績から、幅広い知見やバランス感覚に定評がある。また、NPO、行政、ビジネスすべてのセクターでの経験を持つことから、多様なステークホルダーそれぞれの立場・視点で、事業をプロデュース・コーディネートできることに強みがある。



認定NPO法人かもものはしプロジェクト 日本事業マネジャー、一般社団法人JIMI-Lab 代表理事、箱根あそびネット 代表・発起人、夫婦ユニット「たのらく」夫、株式会社ウィル・シード インストラクター

9期生研修 第1回講師紹介

草野 竹史 氏/ NPO 法人 ezorock 代表理事

1979年札幌市生まれ。酪農学園大学環境システム学部経営環境学科卒。在学中に国際青年環境NGO「A SEED JAPAN」の環境対策イベントに参加したことをきっかけに2001年に仲間とともに環境団体「ezorock」を設立。北海道最大級の音楽フェスティバルにおける環境対策活動を中心に展開。大学卒業後、建設コンサルティング会社に就職し、まちづくりや環境、観光などの調査に携わる。2005年に退社し、半年間組織経営の勉強をした後、06年4月に環境NGO ezorock 代表理事に就任。13年にNPO法人取得。若者の社会参加を促進し、次世代の声を社会に届ける仕組みづくりを目指しながら地域づくりや環境活動を実施している

